

マタイ 49

# 救いはただ 主の恵み

マタイ福音書19:16～30 金持ちの青年・後の者が先に

Shikaoichurch.com

11

日々、恵みを味わってますか？

喜びと感謝がありますか？

12

救いは、ただ主の恵みである

- ① 悲しむべきは己の罪 16～22
- ② 人は人を救えない 23～26
- ③ 何もない者が恵みを得る 27～30


聖書引用 新改訳2017 ©2017 新日本聖書刊行会 許諾番号4-1062-2

ヨルダン川西岸

13

エルサレムに向かうメシア

- ガリラヤを離れ、エルサレムのあるローマの直轄領へ足を踏み入れたイエス。
- ガリラヤから追いつがる者がおり、エルサレム方面から来て、待ち構えていた者たちもいた。



14



15

### 本編 永遠のいのち マタイ19:16

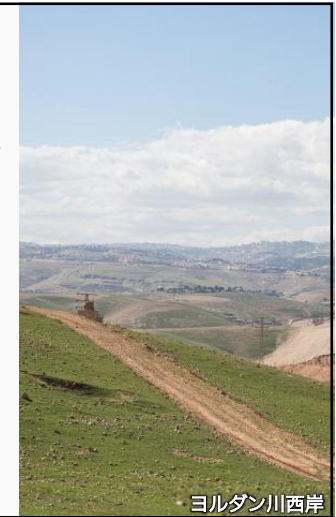
すると見よ、一人の人\*がイエスに近づいて来て言った。「先生。永遠のいのち\*を得るためには、どんな良いことをすればよいのでしょうか。」

\*「ある指導者(ルカ18:18)」

\*「ひざまずいて尋ねた(マルコ10:17)」

\*マタイでは、初出

■自分が良いことを行ってきた、という強烈な自負心がのぞく。→信仰アピール!!



16

### 旧約聖書に記された「永遠のいのち」

#### ■大難難時代に救われる者 ダニエル書12:1～2

その時、あなたの国の人々を守る大いなる君ミカエルが立ち上がる。国が始まって以来その時まで、かつてなかったほどの苦難の時が来る。しかしその時、あなたの民で、あの書に記されている者はみな救われる。

ちりの大地の中に眠っている者のうち、多くの者が目を覚ます。ある者は**永遠のいのち**に、ある者は恥辱と、永遠の嫌悪に。

世の終わりの行き先は、二つに一つ!!

17

### 本編 守るべき戒め マタイ19:17

イエスは彼に言われた。「なぜ、良いことについて、わたしに尋ねるのですか。良い方はおひとりです。いのちに入りたと思うなら**戒め\***を守りなさい。」

■良い方(神)の定めた**戒め(律法)**を守る。

→イスラエルなら当然のこと

■青年の自負心を軽くない主イエス。

→淡々と戒めを守ればいいだけ!!



18

**本編** 二つの戒め マタイ19:18~19

彼は「どの戒めですか」と言った。そこでイエスは答えられた。「殺してはならない。姦淫してはならない。盗んではならない。偽りの証言をしてはならない。父と母を敬え\*。あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい」

\*十戒の後半の倫理規定(出20:12~17)

\*レビ19:18

■特別な戒めを望んだ青年に対し、イエスが答えたのは、十戒。基本中の基本。

人との関係性の  
箇所ばかり!!



ヨルダン川西岸

19

**本編** 青年の自負 マタイ19:20

この青年\*はイエスに言った。「私はそれらすべてを守ってきました\*。何がまだ欠けているのでしょうか\*。」

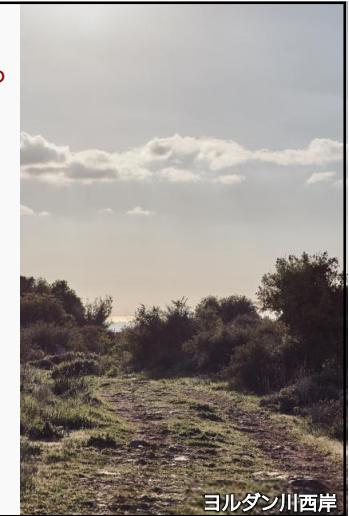
\*30歳前?! …レビ人の奉仕は30歳から。指導者として準ずるなら。

\*律法を完全に守っているという自負

一見、謙遜なようで、非常に傲慢

→ラビ訓練を受けていた?!

\*自分にふさわしい課題を与えてくれ!!



ヨルダン川西岸

20

**本編** 欠けていたもの マタイ19:21

イエスは彼に言われた。「完全になりたいのなら\*、帰って、あなたの財産を売り払って貧しい人たちに与えなさい。そうすれば、あなたは天に宝を持つことになります。そのうえで、わたしに従って来なさい。」

\*青年に欠けていた点を鋭く指摘

■律法を深く学び、守っていた青年。

→財産があったから可能だったこと

→財産への執着も人一倍だった



ヨルダン川西岸

21

**本編** 立ち去った青年 マタイ19:22

青年はこのことばを聞くと、悲しみながら\*立ち去った。多くの財産を持っていたからである。

\*納得できない条件を悲しんだ。自己憐憫。

→悲しむべきは、手放せない自分の罪

■青年は、主に仕えることよりも、永遠のいのちを得ることよりも、自分の財産が大切だった。

→目の前のメシアに従えなかった

①悲しむべきは  
己の罪



ヨルダン川西岸

22

## ①悲しむべきは己の罪

- 難しい課題を求め、信仰アピールに来た金持ちの青年。
- 逆に指摘されたのは、彼の傲慢。人との関係性の欠如。
- 突きつけられた根本的な罪は、富への強すぎる執着。神と人のために、本当に犠牲を払う意志はなかった。彼が悲しんだのは、大切な自分の富を失うこと。

**悲しむべきは、執着を手放せない、自分自身の罪**

23



②人は人を救えない マタイ福音書19:23～26

ヨルダン川西岸

24

### 本編 財産という妨げ マタイ19:23～24

そこで、イエスは弟子たちに言われた。  
「まことに、あなたがたに言います。金持ちが天の御国に入るのは難しい\*ことです。

もう一度あなたがたに言います。金持ちが神の国に入るよりは、らくだ\*が針の穴を通るほうが易しい\*のです。」

\*青年のように、財産が大きな妨げに。

\*イスラエルで日常目にする最大の動物

■ 財産が、神以上の偶像になっている!!



イスラエルのラクダ

25

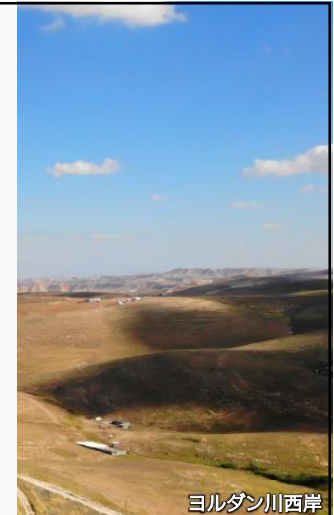
### 本編 誰が救われるか マタイ19:25～26

弟子たちはこれを聞くと、たいへん驚いて言った。「それでは、だれが救われることができるでしょう。」

イエスは彼らをじっと見つめて言われた。「それは人にはできないことですが、神にはどんなことでもできます。」

\*財産は、神の祝福のしるし、信仰の証明とされていた。

**②人は人を救えない**



ヨルダン川西岸

26

## ②人は人を救えない

- 富は、神の祝福、信仰の現れとされていた。  
経済力がないと学びもできない。ラビ教育は、その極み。  
(※ペテロたちも、多大な経済的負担を)
- 律法(+口伝律法)を守るにも、経済力がものを言った。
- 「金持ちですら救われないなら、一体誰が救われる？」

**救いは、神の一方的な恵みの御業!!**

27



③何もない者が恵みを得る

マタイ福音書19:27~30

サマリヤ

28

### 本編 ペテロの願望 マタイ19:27

そのとき、ペテロはイエスに言った。  
「ご覧ください。私たちはすべてを捨てて、あなたに従って来ました\*。それで、私たちは何をいただけるでしょうか。」

\*フルタイムの弟子として、3年余り、  
イエスに付き従ってきた弟子の自負。

- イエスが王となったとき、  
自分たち使徒に与えられる報いは？



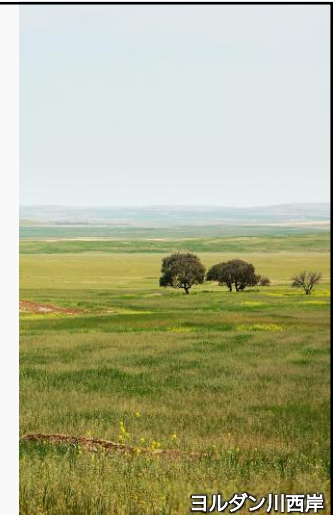
ヨルダン川西岸

29

### 本編 御国での報い マタイ19:28

そこでイエスは彼らに言われた。「まことに、あなたがたに言います。人の子がその栄光の座に着くとき、その新しい世界で、わたしに従って来たあなたがたも十二の座に着いて、イスラエルの十二の部族を治めます。」

- 神の国で、十二使徒が、イスラエルの十二部族を治める。



ヨルダン川西岸

30

**本編 後の者が先に** マタイ19:29～30

また、わたしの名のために、家、兄弟、姉妹、父、母、子ども、畑を捨てた者はみな、その百倍を受け、また永遠のいのちを受け継ぎます。

しかし、先にいる多くの者\*が後になり、後にいる多くの者\*が先になります。

\*金持ちの青年のような形ばかりの信仰者

\*世では侮られていた、真実の信仰者

**③無資格者が恵みを得る**

ヨルダン川西岸

31

**③無資格者が恵みを得る**

■ “すべてを捨てて主に従ってきた” 十二使徒は、来るべき神の国で、イスラエル12部族の長となる。

■ 犠牲を払い、第一に主に仕えた者は、神の国で比べものにならない恵みを受ける。

■ 心を見る主の評価は、世の評価とは逆転する。

**資格のない者が、信仰と恵みによって救いを得る**

32

**救いは、ただ主の恵みである**

① **悲しむべきは己の罪** …自分が手放しがたいものは？  
罪を嘆くのが信仰の始まり。

② **人は人を救えない** …肩書きも地位も評判も、  
救いとは全く関係ない。

③ **何もない者が恵みを得る** …資格のない者が、信仰と恵み  
によって救われる。

34



**まとめと適用** ただ主の恵みを求めよう

ヨルダン川西岸

33

## 恵みを恵みとしているか？ 私たちの実態は？

- ① **悲しむべきは己の罪** …活動、知識、実績を誇ってはいないか？
- ② **人は人を救えない** …自分に託された使命と、主に委ねることを混同してない？
- ③ **何もない者が恵みを得る** …世で何者かになろうとしてはいないか？

35

## 例) リベラルクリスチャンを反面教師に

- ① **悲しんでいるのは、社会の罪、他者の罪**  
例) 基地と軍隊が、人々を苦しめている
- ② **社会を変え、人々を救うのが、自分たちの責務**  
例) 自分たちが義。法を犯すことも正当化。
- ③ **報いを得るのは、義と定める活動に尽力した者**  
例) 自分と他者に犠牲を強いる。軽んじられる命。

行いによる救いがもたらす悲劇

36

## ★ 恵みの主イエス・キリストを仰ぎ見よう ★

- 世の富、力、評価が、どれだけ信仰者を歪めるか。  
例) 信仰の勇者ダビデは？ 知恵者ソロモンは？
- 預言者も使徒も、世で評価された人などいなかった。  
世で小さな者とされていることを幸いとしよう。  
辺境の地にいることも。少数者であることも。
- 私たちが仰ぎ見るべきは、主イエス・キリスト。  
十字架の受難を経て、死に勝利し、復活された。

37

てん どう わたし つみ  
「天のお父さま。私たちの罪をゆるしてください。  
わたし かみ こ しゅ  
私たちは、神のみ子、主イエス・キリストが、  
わたし つみ あがな じゅうじか し  
① **私たちの罪を贖うために十字架で死なれ、**  
はか ほうむ  
② **墓に葬られ、**  
みつかめ ふっかつ  
③ **三日目に復活されたこと、を信じます。**  
わたし しんこう しゅ いっぼうてき すく  
私たちは、ただ信仰と、主の一方的な恵みによって救われました。  
よ ちい もの わたし さいわ  
世にあって、小さな者であることは、私たちの幸いです。  
とも しゅ しんらい ふくいん かか つか  
共におられる主だけを信頼して、福音を掲げ、遣わされます。  
かんしゃ しゅ な いの  
感謝して、主イエス・キリストのみ名によって祈ります。アーメン」

38